

エコアクション21 環境経営レポート

2023年度（取組期間：2023年4月1日～2024年3月31日）



■ 環境事業部 正門

発行日：2024年5月9日

目 次

■ 目次	P2
■ 会社概要	P3
■ 産廃処理業概要	P4
■ 収集運搬業・許可・車輛一覧	P5
■ 産業廃棄物処理・フロー図	P6
■ 環境経営システム組織図	P7
■ 環境経営方針	P8
■ 産業廃棄物収集運搬処理・実績	P9
■ 環境経営目標設定	P10
■ 環境負荷・実績(取りまとめ)	P11
■ 環境経営目標評価	P12
■ 環境経営計画の取組状況評価	P13
■ 環境関連法規等の遵守・評価	P14
■ 緊急事態・対策手順	P15
■ 代表者による評価・見直し・指示	P16



■ 県南支店 正門

会社概要

- 事業者名: 株式会社 タイセークリーン
- 代表者名: 代表取締役 本田 弘 (環境管理責任者)
- EA21事務局: 安全衛生環境担当名: 佐藤 昭則
Email: a_sato@taisee-clean.co.jp
- 事業活動 (認証範囲)
- 一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業
- 産業廃棄物中間処理業 ■ 再生資源リサイクル業
- 建築物清掃業 ■ クリーニング業 ■ 警備業
- 貨物運送取扱事業・一般貨物運送事業
- 環境経営レポート (発行日: 毎年5月)
(対象期間: 毎年4月1日～翌年3月31日)
- 売上高 (決算期間: 毎年2月1日～翌年1月31日)



■ 県南支店 花いっぱい運動

事業年度	2021年度 (2021.4～2022.3)	2022年度 (2022.4～2023.3)	2023年度 (2023.4～2024.3)
売上額(百万円)	1,193	1,165	1,086
従業員数(人)	132	132	124

■ 許可証一覧

許可名	許可番号	許可・有効年月日
郡山市 一般廃棄物収集運搬業	郡山市指令5R第21号	令和8年3月31日
郡山市 産業廃棄物収集運搬業	第08711011847号	令和11年5月1日
郡山市 産業廃棄物処分業	第08720011847号	令和9年12月10日
福島県 産業廃棄物収集運搬業	第00702011847号	令和11年5月1日
福島県 特別産業廃棄物収集運搬業	第00752011847号	令和7年9月28日
宮城県 産業廃棄物収集運搬業	第00400011847号	令和6年11月4日
山形県 産業廃棄物収集運搬業	第00609011847号	令和6年11月28日
千葉県 産業廃棄物収集運搬業	第01200011847号	令和8年1月29日
茨城県 産業廃棄物収集運搬業	第00801011847号	令和9年9月23日
栃木県 産業廃棄物収集運搬業	第00900011847号	令和9年11月24日

- 対象サイト (認証範囲・所在地)
- 本社 〒963-0105 福島県郡山市安積町長久保三丁目12番地16
TEL:024-947-1166 FAX:024-946-5588
- 環境事業部 〒963-1247 福島県郡山市田村町下道渡字柳田82
TEL:024-937-3655 FAX:024-953-5251
- 県南支店 〒969-0101 福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字山崎山7
TEL:0248-21-5548 FAX:0248-21-5547
- 事業規模 ■ 創業: 昭和62年3月 ■ 資本金: 1,300万円
- 事務所床面積: 303.6㎡ ■ 工場等床面積: 1,911.6㎡



産 廃 処 理 業 概 要

■ 中間処理場の概要

産業廃棄物の種類	コンクリートがら (有筋)	コンクリートがら (無筋)	アスファルトがら	その他 がれき類	ガラスくず、 コンクリートくず 及び陶磁器くず	金属くず	紙くず (リサイクル不可)	紙くず (リサイクル可)
処理能力	187.18t/日	187.18t/日	187.18t/日	187.18t/日	190.48t/日	189.62t/日	155.35t/日	3.39t/日
処理方法	破碎	破碎	破碎	破碎	破碎	破碎	破碎	圧縮・梱包

産業廃棄物の種類	木くず (リサイクル不可) (リサイクル可)	繊維くず	廃石膏 ボード	混合 廃棄物 (安定型)	混合 廃棄物 (管理型)	廃プラス チック類 (リサイクル不可)	廃プラス チック類 (リサイクル可)	廃プラス チック類 (焼却物)
処理能力	271.31t/日	178.27t/日	190.48t/日	58.97t/日	58.97t/日	180.74t/日	180.74t/日	180.74t/日
処理方法	破碎	破碎 埋立	破碎	選別 破碎	選別 破碎	破碎	破碎	破碎

■ 積替え又は保管施設の概要

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃プラス チック類	動植物性 残さ	金属くず	ガラスくず、 コンクリートくず 及び陶磁器くず	がれき類
保管面積(㎡)	7.20	7.20	6.00	5.20	3.60	3.60	5.04	7.56
保管上限(㎡)	6.69	6.69	2.99	4.00	2.00	2.00	4.00	6.00
高さ(m)	1.25	1.25	0.90	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25

■ 車両以外の運搬施設の概要

運搬容器等の名称	容量	用途
脱着式コンテナ	10m ³	燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、木くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、ゴムくず、金属くず、鉱さい、紙くず、繊維くず
蓋付ドラム缶	200ℓ	廃油
ケミカルドラム	300ℓ	廃酸、廃アルカリ
クリーンボックス	2m ³	燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、木くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、ゴムくず、金属くず、鉱さい、紙くず
オープンドラム缶	200ℓ	動物の死体、動物のふん尿、動植物性残さ
フレコンバック	1m ³	石綿含有産業廃棄物

■ 廃棄物処理の料金

料金は、廃棄物の(種類・量・収集運搬距離等)を調査後、お見積書(無料)を、ご提示致します。
 なお、当社本社:営業部まで (☎024-947-1166) ご相談ください。

■ 県南支店 泉崎村 リサイクル施設



■ 缶の圧縮機



■ ペットボトルの圧縮機

収 集 運 搬 業 ・ 許 可 ・ 車 輛 一 覧

■ 産 業 廃 棄 物 収 集 運 搬

許可区分	許可番号 許可期限	業の区分	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	水銀含有産業廃棄物	石綿含有産業廃棄物
福島県	第00702011847号 令和11年5月1日	収運	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
郡山市	第08711011847号 令和11年5月1日	収運	●	●	●	○	○	●	○	○	○	●		○	●	●	○	●	○	○	●	●	●
宮城県	第00400011847号 令和6年11月4日	収運	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○		○					○
栃木県	第00900011847号 令和9年11月24日	収運	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
茨城県	第00801011847号 令和9年9月23日	収運	○	○				○	○	○	○			○	○	○		○					
山形県	第00609011847号 令和6年11月28日	収運	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
千葉県	第01200011847号 令和8年1月29日	収運	○	○	○	○								○	○	○	○	○			○	○	○

※印は石綿含有産廃物含む。

■ 特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 収 集 運 搬

許可区分	許可番号 許可期限	業の区分	特定有害産業廃棄物										廃アルカリ	引火性廃油	廃強酸	感染性廃棄物
			廃PCB等	PCB汚染	指定下水	鉱さい	燃え殻	ばいじん	廃石綿等	廃油	汚泥	廃酸				
福島県	第00752011847号 令和7年9月28日	収運							○	○	○	○	○	○	○	○



■ 感染性廃棄物 BO

■ 収 集 運 搬 登 録 車 両 一 覧

3 t	コンテナ専用脱着装置付	2 台	4 t	平 ダンプ車 パワーゲート付	2 台
4 t	コンテナ専用脱着装置付	5 台	10 t	ダンプ車	2 台
7 t	コンテナ専用脱着装置付 クラム付	1 台	10 t	ダンプ車 Fゲート付	2 台
8 t	コンテナ専用脱着装置付	2 台	1 t	トラックパレル車 パワーゲート付	1 台
10 t	コンテナ専用脱着装置付	1 台	3.5 t	ユニック車	6 台
11 t	コンテナ専用脱着装置付	2 台	4 t	ユニック車	4 台
0.35 t	ダンプ車	1 台	8 t	ユニック車	2 台
1 t	ダンプ車	1 台	9 t	ユニック車 セルフ付	1 台
2 t	平 ダンプ車	2 台	4 t	清掃車	1 台
2 t	深 ダンプ車	3 台	4 t	ウイング車	1 台
3 t	深 ダンプ車	1 台	4 t	冷蔵冷凍車	1 台
4 t	ダンプ車 Fゲート付	1 台	4 t	パッカー車	3 台

■ 環境事業部 破砕施設

■ (登録車両台数計 48 台)



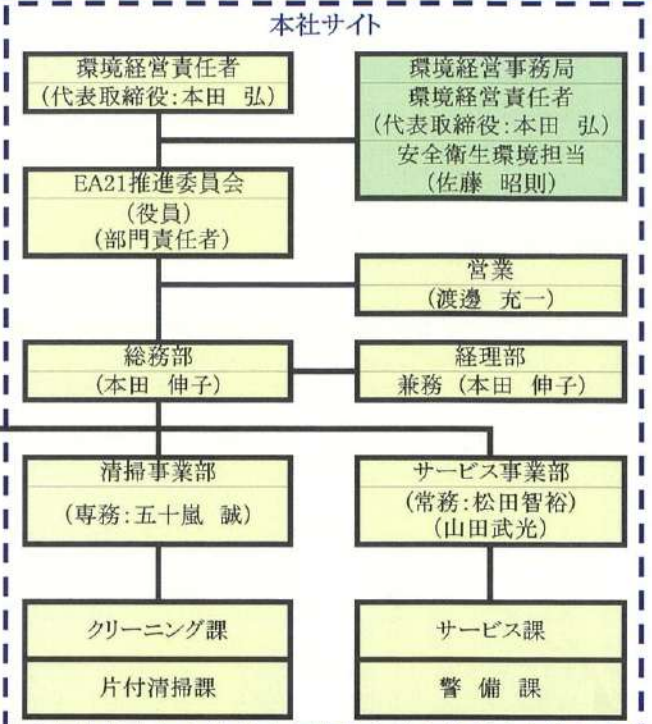
産業廃棄物処理・フロー図



環境経営システム組織図

改定日:2024年4月11日

サイト範囲	組織	人数
本社サイト	役員	6
	総務部・営業部・経理部	6
	清掃事業部	33
	サービス事業部	31
環境事業部サイト	環境事業部	37
県南支店サイト	県南支店	11
全サイト	人数計	124



役職	役割・責任・権限
■ 代表取締役	■ 環境経営に関する統括責任
	■ 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備
	■ 環境経営責任者・各部門責任者を任命
	■ 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知
	■ 環境経営目標・環境経営計画書を承認
	■ 代表者による全体の評価と見直しを実施
	■ 代表者による経営上の課題とチャンスの明確化を実施
	■ 環境経営レポートの承認
■ 環境経営責任者	■ 環境経営システムの構築、実施、管理
	■ 環境関連法規等の取りまとめ票を承認
	■ 環境経営目標・環境経営計画書を確認
	■ 環境経営の取組結果を代表者へ報告
	■ 環境経営レポートの確認
	■ 環境経営責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局
■ 環境経営事務局	■ 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	■ 環境経営目標・環境経営計画書原案の作成
	■ 環境経営活動の実績集計
	■ 環境関連法規等取りまとめ表の作成
	■ 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	■ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	■ 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
	■ 自部門における環境経営システムの実施
■ (部門責任者)	■ 自部門における環境経営方針の周知
	■ 自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	■ 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告
	■ 特定された項目の手順書作成及び運用管理
	■ 自部門における緊急事態対応手順書の作成、訓練等の実施、記録の作成保管
	■ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
	■ 環境経営方針の理解・各自の役割・責任及び環境への取組の重要性を自覚
■ 全従業員	■ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

■ 県南支店



環境経営方針



エコアクション21

認証番号0009719

《環境経営理念》

- 我が社は、清掃業・廃棄物処理業を通して、持続可能な社会を目指し、地域・コミュニティとともに、地域環境との共生に向けた取り組みを展開します。

《環境保全活動指針》

- 私たちは事業活動に係わる環境影響を常に認識し、環境汚染の防止に努めるとともに、地球環境に配慮し・脱炭素・循環経済・自然と共生する環境保全活動を展開し、環境経営の継続的な改善を行います。
- お客様との対話を通じて、行政、団体、地域社会との共存を大切にし、関連する環境法規等を遵守するとともに、持続可能な社会を実現するために日々改善に取り組みます。

- 全従業員一丸となって、次の「具体的活動8項目」に取り組みます。

- 「二酸化炭素排出量」の削減を目指す。
- 「軽油・ガソリン・電力等の使用量」の削減を目指す。
- 「車輻燃費(廃棄物収集運搬車:軽油車のみ)」の燃費向上を目指す。
- 「エコドライブ10のすすめ」(運転日報:総合評価点)の向上を目指す。
- 「資源物出荷量あたりの電力使用量」の適正管理を目指す。
- 「化学物質の購入量」を適正管理を目指す。
- 「グリーン購入法適合商品の調達」を積極的に推進します。
- 清掃活動等の地域環境維持に積極的に取り組みます。

- この環境経営方針は文書化し全社員並びに協力会社にも広く配布し周知徹底させます。更に全社員が環境経営活動に理解を深め行動するように継続的教育を行い意識の向上を図ります。

改定日2024年4月1日

株式会社 タイセークリーン

代表取締役 本田 弘



産業廃棄物収集運搬処理・実績



産業廃棄物収集運搬

廃棄物種類	単位	収集運搬量
コンクリートくず	t	5,110
管理型混合廃棄物	t	2,577
廃プラスチック類	t	2,511
木くず	t	1,800
がれき類	t	1,166
アスファルトくず	t	885
金属くず	t	884
安定型混合廃棄物	t	707
紙くず	t	336
廃石膏ボード	t	330
汚泥	t	299
ガラスくず・陶磁器くず	t	208
感染性廃棄物	t	146
石綿含有産業廃棄物	t	93
繊維くず	t	21
蛍光灯(水銀使用製品)	t	9
廃油	t	7
廃酸	t	2
廃アルカリ	t	1
もえがら	t	1
合計	t	17,094

中間処理

廃棄物の種類	処理方法等	単位	処理量
管理型混合廃棄物	破砕	t	1,297
コンクリートくず	破砕	t	2,202
木くず	破砕	t	1,289
廃プラスチック類	破砕	t	974
アスファルトくず	破砕	t	467
廃石膏ボード	破砕	t	547
がれき類	破砕	t	589
安定型混合廃棄物	破砕	t	1,100
ガラスくず・陶磁器くず	破砕	t	443
金属くず	破砕	t	496
紙くず	破砕	t	238
繊維くず	破砕	t	17
コンクリートくず	再生	t	2,202
アスファルトくず	再生	t	467
金属くず	再生	t	496
廃石膏ボード	再生	t	192
木くず	チップ燃料	t	290
紙くず(ダンボール)	再生	t	51
小計		t	3,698
合計		t	9,659

中間処理後・産業廃棄物(最終処分・中間処理・再資源化等)

廃棄物の種類	処理方法等	単位	処分量等
管理型混合廃棄物	管理型埋立(委託)	t	960
がれき類	安定型埋立(委託)	t	589
廃石膏ボード	管理型埋立(委託)	t	355
ガラスくず・陶磁器くず	安定型埋立(委託)	t	443
廃プラスチック類	安定型埋立(委託)	t	260
安定型混合廃棄物	安定型埋立(委託)	t	720
小計		t	3,327
木くず	焼却(熱回収)	t	999
廃石膏ボード	再生(石膏ボード)	t	480
廃プラスチック類	焼却(熱回収)	t	791
紙くず	焼却(熱回収)	t	186
繊維くず	焼却(熱回収)	t	17
廃プラスチック類	再生(燃料以外)	t	160
小計		t	2,633
合計		t	5,960

一般廃棄物収集運搬

廃棄物種類	単位	収集運搬量
可燃ごみ	kg	498
不燃ごみ	kg	4
資源ごみ(段ボール・雑誌・新聞紙)	kg	0
資源ごみ(スチール缶・アルミ缶)	kg	238
資源ごみ(ペットボトル・ペットボトルのふた)	kg	234
合計	kg	974



環境経営目標設定

■ 中期・環境経営目標設定

該当項目	中期・環境経営目標		
	2023年度 (2023.4～2024.3)	2024年度 (2024.4～2025.3)	2025年度 (2025.4～2026.3)
■ 二酸化炭素排出量	2020年度実績比 2.2% 削減	2020年度実績比 2.3% 削減	2020年度実績比 2.4% 削減
■ 総排水量(水使用量)	2020年度実績比 2.2% 削減	2020年度実績比 2.3% 削減	2020年度実績比 2.4% 削減
■ 一般廃(各サ仆排出量)	2020年度実績比 2.2% 削減	2020年度実績比 2.3% 削減	2020年度実績比 2.4% 削減
■ 受託(収集運搬処理量)	各受託産廃に関する目標値は、受託量に左右されるため、 運搬車両の効率配送を目指す		
■ 受託(再資源化量)			
■ 化学物質購入量	化学物質購入量は、受注量に左右されるため、適宜SDS調査し導入を目指す		
■ 地域環境維持運動参加	率先参加を目指す		

■ 単期(2023年度)環境経営目標は、基準年(2020年度)実績比 2.2%削減

該当項目	2020年度 (2020.4～2021.3)	2023年度 (2023.4～2024.3)	
	基準年・実績	削減 2.2%	単期・環境経営目標
■ 二酸化炭素排出量	922,331 kg-CO ₂	2.2%	902,040 kg-CO ₂
■ 軽油	802,196 kg-CO ₂	2.2%	784,548 kg-CO ₂
■ ガソリン	75,155 kg-CO ₂	2.2%	73,502 kg-CO ₂
■ 電力	44,980 kg-CO ₂	2.2%	43,990 kg-CO ₂
■ 受託(収集運搬処理量)	各受託産廃に関する目標値は、受託量に左右されるため、 運搬車両の効率配送を目指す		
■ 受託(再資源化量)			
■ 化学物質購入量	化学物質購入量は、受注量に左右されるため、適宜SDS調査し導入を目指す		
■ 地域環境維持運動参加	率先参加を目指す		

■ 建築物清掃業

■ クリーニング業



環境負荷・実績（取りまとめ）

2023年度（2023年4月～2024年3月）						
該当項目		数 量	単位	料金（円）	CO2排出量 (kg-CO2)	割合
エネルギー 使用量 (シート3)	軽油 (全サイト)	294,521	L	45,061,788	759,865	85.74%
	ガソリン (全サイト)	27,674	L	4,676,950	64,204	7.24%
	電力3 U-POWER (環境事業部)	44,619	kwh	1,821,969	26,325	2.97%
	電力4 U-POWER (県南支店)	25,946	kwh	25,946	15,308	1.73%
	灯油 (全サイト)	3,922	L	423,576	9,766	1.10%
	電力1 東北電力 (本社)	16,876	kwh	570,274	8,809	0.99%
	電力2 東北電力 (環境事業部)	3,625	kwh	151,670	1,892	0.21%
	LPG (全サイト)	40	kg	42,193	120	0.01%
	合計(エネルギー)			52,774,366	886,289	100.00%
受託廃棄物 再生資源処 理量 (シート4)	(1)産廃・収集運搬量	17,094	t			(環境事業部)
	2)中間処理量	9,658	t			
	うち再資源化等量	3,699	t			
	4)中間処理後の処分量	5,961	t			
	最終処分量等	3,327	t			
	中間処理量等	2,633	t			
	(2)一般廃・収集運搬量 事業系	712	kg			(全サイト)
一般廃棄物総排出量(シート5)		712	kg			(全サイト)
産業廃棄物総排出量(シート6)		9,658	t			(環境事業部)
	中間処理量	3,183	t			
	うち再資源化量	6,348	t			
	最終処分(埋立)量	3,310	t			
水使用量 (シート7)	上水(全サイト)	260	m ³	57,438		(本社)
		218	m ³	98,065		(環境事業部)
		292	m ³	113,804		(県南支店)
化学物質使 用量 (シート8)	購入量:35%塩酸	80.00	kg			(清掃事業部)
	含有量:塩化水素35%	28.00	kg			
	購入量:ミヤキ レブライト	108.00	kg			
	含有量:トリメチルベンゼン13.6%	16.20	kg			
	購入量:一ツ星ラッカーシンナー量	0.00	kg			
	含有量:トルエン25%	0.00	kg			

■ 警備業



環境経営目標評価

該当項目		二酸化炭素 排出係数	2020年度	2023年度				評価
			基準年実績	削減率	目標	実績	削減率	
			(a)	2.2%	(b)	(c)	$\frac{(a-c)}{a} \times 100$	
売上高	売上高(百万円/年)		1,120			1,165		
CO2 全体	二酸化炭素排出量(kg-CO2/年)		922,331	2.2%	902,040	876,577	4.96	102.90
	二酸化炭素排出原単位(kg-CO2/t)		792	2.2%	774	752	4.96	102.90
軽油	軽油使用量(kg-CO2/年)	2.580	802,196	2.2%	784,548	759,865	5.28	103.25
	軽油使用量原単位(kg-CO2/百万円)		689	2.2%	673	652	5.28	103.25
ガソリン	ガソリン使用量(kg-CO2/年)	3.320	75,155	2.2%	73,502	64,377	14.34	114.17
	ガソリン使用量原単位(kg-CO2/百万円)		65	2.2%	63	55	14.34	114.17
電力量	電力使用量(kg-CO2/年)東北電力 ㈱USEN NETWORKS(セントラル電力)	0.522 0.590	44,980	2.2%	43,990	52,335	-16.35	84.06
	電力使用量原単位(kg-CO2/百万円)		39	2.2%	38	45	-16.35	84.06

■ 環境事業部

達成率110%以上 ◎	達成率90%以上～100%未満 △	評価 記号
達成率100%以上～110%未満 ○	達成率90%未満 ×	



環境経営計画の取組状況評価

(評価記号) ◎良く出来た ○まあまあ出来た △やや不十分 ×…不十分

環境目標	活動取組項目	活動の具体的内容 (活動期間:2022年4月～2023年3月)	時 期	場 所	担当者	取 組 状 況 評 価				今年度 取組内容	次年度 取組内容
	なにを	どのように	いつ	どこで	だれが	1/4期	2/4期	3/4期	4/4期		
二酸化炭素排出量の削減	■電力・灯油の削減	■『緑のカーテン』設置(窓・玄関ドア付近)	通年	全サイト	各部署長	◎	◎	◎	◎	水補給全員で実施	継続実施
		■冷暖房温度設定(冬季20℃・夏季28℃)				△	△	△	△	適宜確認	
		■OA・家電待機電力削減(コンセント抜く)				○	○	○	○		
		■OA・家電待機電力削減(エコタプ導入)				○	○	○	○	毎月朝礼・声掛け	
		■クールビズ、ウォームビズ				○	○	○	○		
		■外出時(パソコン電源OFF)				△	△	△	△	適宜確認	
		■不要照明の消灯				◎	◎	◎	◎	昼休み消灯	
	■エコ運転の実施	■効率的運行計画(ルート設定)	通年	環境事業部	佐々木	◎	◎	◎	◎	日々作成指示	継続実施
		■法定速度の遵守				△	△	△	△	点呼時指示	
		■車両適性運転(アクセル空ふかしNG)				△	△	△	△		
		■急発進・急停車・急加速禁止				△	△	△	△		
		■不必要なアイドリングストップ(冬季)				△	△	△	△		
		■エアコン控えめ(夏季)				△	△	△	△		
		■タイヤの空気圧を定期的に調整する				○	○	○	○		
	■重機等(省エネモード運転)	○	○	○	○						
■廃棄物の削減	■廃棄物分別	■産廃とリサイクルの分別徹底	通年	全サイト	全社員	◎	◎	◎	◎	随時確認・声掛け	継続実施
	■紙使用の削減	■ドキュワークス活用(電子PDF・FAX受信)保存				◎	◎	◎	◎		
		■プレビュー確認後、印刷				△	△	△	△		
		■裏紙使用の徹底				○	○	○	○		
■両面コピーの励行	○	○	○	○							
■不要コピー用紙シュレッター後(再資源化)	○	○	○	○							
■総排水量の削減	■水道使用量の削減	■水道出しっぱなし禁止(歯磨き時コップ使用)	通年	全サイト	全社員	○	○	○	○	随時確認・声掛け	継続実施
		■水道出しっぱなし禁止(掃除時バケツ使用)				○	○	○	○		
		■雨水の有効活用				○	○	○	○		
物質学	■化学物質使用量	■化学物質導入時の法遵守(SDS確認)	通年	事業部	五十嵐	○	○	○	○	在庫チェック 購入時把握	継続実施
		■化学物質の適正管理				○	○	○	○		
購入品	■グリーン商品の購入	■グリーン購入対象商品の購入	商品発注	事務所	社長	△	△	△	△	トイレットペーパー、 制服、A4ファイル、 コピー機用紙	継続実施
		■エコマーク商品の優先的購入				△	△	△	△		
社会貢献	■地域・社会貢献活動	■地域清掃活動への参加	通年	全社	社長	◎	◎	◎	◎	毎月清掃実施	継続実施
		■エコキャップ				◎	◎	◎	◎	毎月提供	
		■全社員が家庭節電・節水・ゴミ分別の実施	通年	家庭	全社員	◎	◎	◎	◎	随時声掛け	
全社員	■削減提案対応	■LED照明導入	通年	全社	社長	適宜継続検討				適宜実施	
		■人感センサー導入(トイレ照明)									
		■HV・EV車両導入									
		■バッテリー式フォークリフト導入									

《2023年度取組の振り返り》

コロナ禍の中、ようやく制限が解除に向かい、新たな行動基準を巡視しながら前進した一年で、振り返りにあたり、コロナ感染症やインフルエンザ等、人類が立ち向かう自然の驚異を身近で感じ、また、ロシア・ウクライナ、中東地域の紛争にも人類の関心が高まり、そのあおりで燃料の高騰をはじめとする物価上昇対応に苦戦した1年で早期終結を祈るばかりでした。

この様な世界情勢の中、環境経営計画の取り組みは、おおむね達成しました。
さらに、地域社会貢献活動の取り組みは、進んで参加、エコキャップ運動環境活動も、定着してきました。
2024年改めて、原点に立ち返り、3R(リデュース・リユース・リサイクル)を基に(リフューズ・リペア)を含め5Rを、推進して参ります。

■ 緑のカーテン



環境関連法規等の遵守・評価

2024.4.23確認

■ 環境関連法規等の名称	■ 遵守事項または規制基準	■ 当社の適用及び対応	■ 遵守状況
■ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律	■ 産業廃棄物の適正保管	■ 保管基準の遵守 ・ 廃棄物の悪臭・飛散防止 ■ 保管場所の表示(60cm×60cm 以上掲示)	遵守
	■ 産業廃棄物の委託処理基準	■ 処分許可業者への委託契約書の締結	
	■ 排出事業者から産業廃棄物	■ 排出事業者から管理票・ manifests 伝票(複写式7枚綴A・B1・B2・C1・C2・D・E)交付受理 ■ 排出事業者へ返送(運搬終了後 ・10日以内に B2票) ■ 排出事業者へ返送(中間処理終了後 ・10日以内に D票) ■ 排出事業者へ返送(manifests 交付日から ・90日以内に B2票 ・D票) ■ 排出事業者へ返送(最終処分終了後 ・180日以内に E票) ■ manifests 交付状況を毎年6月30日迄、県知事に報告	遵守
	■ 産業廃棄物管理票(manifests)		
■ 循環型社会形成推進基本法	■ 産業廃棄物の適正処理・3R推進	■ リデュース(Reduce)製品生産時に使用資源量を少なくする・廃棄物発生を少なくする	遵守
		■ リユース(Reuse)使用済み製品やその部品等を繰り返し使用する	
		■ リサイクル(Recycle)廃棄物等を原材料やエネルギー源として有効利用する	
■ 労働安全衛生法	■ 安全データシート(SDS)交付	■ 化学物質の有害性、取扱方法、健康障害防止、リスクアセスメント等の教育・周知する。	遵守
■ 騒音規制法	■ 騒音に係る環境基準	■ 昼間(6:00～22:00) A・B(住居地域)55デシベル以下・C(工業地域)60デシベル以下 ■ 夜間(22:00～6:00) A・B(住居地域)45デシベル以下・C(工業地域)50デシベル以下	遵守
■ 振動規制法	■ 振動に係る環境基準	■ 第1種区域 昼間(7:00～19:00)60デシベル以下・夜間(19:00～7:00)55デシベル以下 ■ 第2種区域 昼間(7:00～19:00)65デシベル以下・夜間(19:00～7:00)60デシベル以下	遵守
■ 家電リサイクル法	■ 特定家庭用機器廃棄物のリサイクル料金	■ 特定家庭用機器を長期間使用し排出を抑制する・廃棄時のリサイクル料金の支払	遵守
■ 自動車リサイクル法	■ 自動車のリサイクル料金	■ 自動車所有者は、購入時・最初車検時・廃車時の時点で、リサイクル料金の支払	
■ グリーン購入法	■ 国等の施策への協力	■ 物品購入・借受等する場合の環境物品等(エコマーク商品)の選択	
■ フロン排出抑制法	■ 業務用エアコンの簡易点検・記録保存	■ 使用保全(圧縮機定格出力7.5kw以上50kw未満) 簡易点検の実施(1回以上/3年)	遵守
■ 浄化槽法・法定点検	■ 保守点検・清掃	■ 毎年1回、浄化槽の保守点検及び浄化槽の清掃をし、その記録を3年間保存する	
■ 火災予防条例	■ 郡山地方広域消防組合の届出	■ 指定数量の1/5(200L)以上の危険物を貯蔵する場合には、消防署長に届出が必要	
■ 毒物及び劇物取締法	■ 盗難、紛失の防止	■ 鍵のかかる場所に保管 薬品の管理簿を作成把握する	遵守
■ PRTR法	■ 届出	■ 第1種指定化学物質の使用量把握・報告	
■ 道路交通法	■ 積載重量制限の遵守	■ 過積載の遵守(積載重量の制限を超えて乗車・積載し車両運転しない)	遵守
■ 道路運送車両法	■ 点検および整備の遵守	■ 自動車の点検・整備を保安基準に適合するように維持する	
■ 我が社に適用となる主な環境関連法規等について、2024年5月9日付で遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。 また、過去3年間、関係行政当局からの違反等の指摘や訴訟等はありません。			遵守

■ 県南支店



緊急事態・対策手順

どこで	なにを	どのように・する
■ 全サイト	■ 地震災害発生 ■ 火災発生	■ 災害発生に備えて使用後は什器等を固定、消火器の設置場所、避難経路の確認。 ■ 第一に自分の身を守る。 ■ 安全を確保したのち、使用中の場合は火を消す。 ■ 初期消火。 ■ 緊急連絡体制に基づき速やかに連絡し各部署長は避難状況の確認を取る。 ■ 物の置き方は種類別に平行、直角が原則。 ■ 転がるものには必ずクサビ(転び止め)をする。 ■ 形をそろえて置く。倒れやすいものは縛る。 ■ 現場構内の「整理・整頓・清掃」を徹底する。 ■ 消火作業 ■ けが人の確認 ■ 消防署へ連絡
		■ 灯油・軽油の敷地内に漏洩 ■ 油をバケツで受け止めてウェスで漏洩止める。 ■ 漏洩した油・流域方向に吸着砂を設置し、さらなる流出を止める。 ■ 漏洩の拡散が止まったことを確認し、吸着マットで油を回収する。
	■ ドラム缶が倒れ廃油漏洩	■ 汚れた床は吸着砂・吸着マット・中和剤を使い洗浄する。 ■ 回収した油、使用した道具は産業廃棄物として処分する。
	■ 運搬車重機の油圧ホース破れ油が漏洩	■ 配管等が外れていないか確認して作業する。 ■ 普段から車両点検の際に油圧ホースの劣化にも注意する。 ■ 保管場所を定め安定した場所に保管する。
	■ ユニック作業中に重量物を持ち上げ車が傾き倒れた	■ アウトリガーを目いっぱい張出し車の固定を遵守する。 ■ 作業前に重量物の持ち上げの仮定をする。 ■ ワイヤーが切れないか、ブームが曲がらないか随時確認する。 ■ もし車が倒れた場合すみやかに緊急連絡体制の通りに連絡する。 ■ 廃棄物が道路等に流出した場合には行政に報告する。
	■ 運搬車コンテナ作業中フックが外れコンテナが落下	■ 作業前にフックが問題なくかかっているかを。目視する。 ■ 斜めになって作業した場合、ローラー破損等の事故に繋がる。 ■ もしコンテナが落下した場合すみやかに緊急連絡体制の通りに連絡する。 ■ 廃棄物が道路等に流出した場合には行政に報告する。
	■ 重機作業中に誤って作業員と接触	■ ガラコン・コンバーで、作業範囲を囲ってから作業開始する。 ■ オペレーターは常に周りに気を配り作業する。 ■ 旋回範囲に入る時は、オペレータに合図し確認出来たら入る。 ■ 原則、作業員は安易に重機に近づかない。 ■ もし重機と接触した場合には緊急連絡体制に基づき速やかに連絡する。
	■ 屋根に誤ってローダーやフォークリフトが接触	■ オペレーターは常に周りに気を配り作業する。 ■ 作業中は視野が狭くなるので、その上で普段の作業を気を付ける。 ■ 近づく場合には必ずオペレーターに合図を送り認識した事を確認する。 ■ 屋内の狭さを常に意識し注意する。 ■ フォークリフトは必ず爪を下した状態でエンジンを切る。 ■ もし接触した場合には緊急連絡体制に基づき速やかに連絡する。

代表者による評価・見直し・指示

■ 代表者による評価

前期より続いている円高・株価の影響等もあり、今期も建設業は非常に苦戦をしています。その影響は大きく、特に燃料費高騰は利益を圧迫しています。そんな中、利益圧迫解消の一つの対策として、令和6年1月より自家給油所の運用を始めコストダウンが出来ております。

また、35℃を超える猛暑日の日数も毎年増加傾向に推移している事は、周知の通りであり、健康への対策として、クールベストを作業者に配布し熱中症対策をおこなった。従業員の健康に配慮した健康経営も3年目に成ります。加えて、エアコンの温度設定、通常は28℃設定で管理していましたが、現在は、26℃設定でコントロールをこまめに変えるなど、従業員の体調管理に重点をおいた管理にしております。

エコアクション21は、SDGSと密接な関係となり、ゼロカーボンを達成するようにあらゆる視点から、考えていく必要性を感じます。更に、従業員がともに、話し合い改善活動を行って、さらなる高みを目指します。環境経営活動は、一つ一つの活動は小さいが、こつこつと継続する事で、大きな成果に繋がると確信しております。

■ 代表者による見直し指示

見直し項目	無	有	見直し指示内容
環境経営方針		○	具体的活動内容を明確に周知すること。
環境経営目標		○	未達要因を把握し目標の再設定を検討すること。
環境経営活動計画		○	未達目標については活動計画を見直しすること。
法規制等に関する情報	○		改定法規制等、継続遵守をお願いします。
環境に関する組織	○		日々教育と周知をお願いします。
違反、訴訟等の情報	○		企業向上させる情報共有をお願いします。

■ 西吾妻連邦

